

みんなのた場

人権擁護委員として法務大臣表彰

石巻市北上町長尾

那須野六男さん 73歳

石巻人権擁護委員協議会に所属する那須野六男さんは、11年に及ぶ人権擁護活動の功績が認められ、このほど法務大臣表彰を受賞しました。

貞山小学校や旧橋浦小学



校等の校長を務めた那須野さんは、定年退職した翌年の平成15年10月に人権擁護委員に委嘱されました。以来現在に至るまで相談業務や人権尊重の大切さを呼び掛ける啓発活動等を積極的に行っています。18年から25年まで同協議会会長も務めました。

豊かな自然と調和した街へ

高野さんは来年3月までの1年間、地域協働課に所属し、主に復興公営住宅に入居する方々がスムーズに周辺地域に溶け込めるよう

力を注いでいます。

「大都市ではコミュニケーションの崩壊が危惧されています。復興に向かう石巻市には、その再構築へ向け

れるよう、親身になって相談に応じることを信条に耳を傾け、適切な助言を行っています。また子どもたちから人権に対する感覚を養ってもらおうと、石巻地区の小中学生を対象にした「人権教室出前講座」にも取り組んでいます。

切さを考えてもらい、また意識を高めてもらえるように活動するのが使命だと思っています」と語っていました。法務大臣表彰の受賞に対しては「とてもうれしく思います。積極的に活動してくれる委員たちと、地域の皆さん、行政関係者の皆さんの協力があったからこそだと思えます」と話していました。

思いやりと命の大切さ訴える



法務大臣表彰を受賞した那須野さん

たヒントがあるのではないかと思います。派遣を志願しました」と話し、積極的に活動しています。

庄司さんも来年3月までの1年の任期です。主に被災した文化財の保護や、発掘調査の支援等に従事して

おり、「文化財は地域の歴史を物語っている大切なものです。限られた時間ですが、皆さんの心のよりどころになるものをしっかりと残していきたいです」と意欲的です。

また派遣元の山形県河北町と石巻市の旧河北町は同じ町名という縁で友好都市になっていることから、石巻市に対して非常に親近感を感じているそうです。

将来の石巻市について高野さんは「古さと新しさ、そして自然と人間がうまく調和したまちでいてほしいです」と述べ、庄司さんは「豊かな文化を大切にしながら、地域復興につなげてほしいと思います」と復興への思いを語っていました。

文化財 (たんぽう) (80)

アオスジアゲハ (アゲハチョウ科)

石巻市文化財保護委員

櫻谷 鎮雄

アオスジアゲハは、とても分布が広く、南はオーストラリア北部、東はソロモン諸島、西はインドにまで及んでいて、東北地方はその北限に当たります。現在の北限は岩手県沿岸中部のようですが、石巻も北限に近く、海岸近くに生息する限られた分布をしています。

なりますが、アオスジアゲハの数はあまり多くありません。さらに内陸になりますと全く生息しなくなります。関東以西では食草の一つであるクスノキが街路樹や神社に植栽され、都市部でもなじみのチョウになりました。

アオスジアゲハの幼虫の食草はクスノキ科の植物ですが、海岸に近い場所ではタブノキを食草としていて、牡鹿半島や田代島、網地島等ではとても数が多いです。海岸から少しでも内陸に入りますとタブノキは生育しなくなり、シロダモが食草と



◆投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのとおきの話をお寄せください。

テーマ 「ありがとう」

日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。

字数 400字以内

投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールで秘書広報課までにお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたものを全てを掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただくことがあります。

問 秘書広報課(内線4024) 〒986-8501(住所不要)

✉ ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

まちの話題



石巻地区

10月18日(土)・19日(日) 石巻港大手埠頭

海王丸を迎え港湾感謝祭

世界最大級の帆船「海王丸」の石巻港寄港に合わせた第13回「港湾感謝祭」が開催されました。「海の貴婦人」の愛称で親しまれる海王丸の優雅な姿を見ようと、会場には2日間で約1万5千人が来場しました。実習生が帆を広げる訓練の「セイルドリル」では、青空に映える白い帆が訪れた人々を魅了しました。また船内の一般公開もあり、多くの家族連れが海と港に親しみました。

石巻地区

4年ぶり 魚市場で大漁まつり

10月19日(日) 石巻魚市場



水産都市・石巻市の一大イベント「第25回いしのまき大漁まつり」が、今年夏に一部再建した石巻魚市場で震災後初めて開催されました。会場には鮮魚や水産加工品のほか農産物等の店が並び、訪れた約1万5千人が次々とお目当ての品に手を伸ばしていました。恒例の模擬競りでは、競り人のテンポ良い掛け声とともに次々と競り落とされていき、活気があふれていました。